

大江戸ファッション事始め

2011年4月1日(金)～5月26日(木)

前期：2011年4月1日(金)～26日(火) 後期：2011年5月1日(日)～26日(木)

(4月4, 11, 18, 25, 27～30日/5月2, 9, 16, 23日は休館致します。)

※展示期間：前期：4/1～4/26 後期：5/1～5/26

※期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※リストの順番は必ずしも作品の展示順とは一致しません。予めご了承ください。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

No	作者	画題	年代	前期	後期
1	奥村政信	佐野川市松の人形遣い	絹本一幅 寛保-宝暦(1741-64)頃		
2	宮川長亀	花魁道中図	紙本一幅 享保-寛延(1716-51)頃		
3	歌川豊広	蚊帳を釣る美人	紙本一幅 享和-文化中期(1801-12)頃		
4	菊川英山	見返る芸妓	絹本一幅 文政-弘化(1818-48)		
5	溪斎英泉	女三題	絹本一幅 文政(1818-30)頃		
6	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 三囲	安政4年(1857)		
7	勝川春潮	飛鳥山花見	天明後期(1786-89)頃		
8	歌川広重	東都洲崎の汐干	安政2年(1855)		
9	喜多川歌麿	うちわもつ美人	寛政中期(1794-98)頃		
10	歌川国貞 (三代歌川豊国)	庭すゝ美	文政後期(1823-30)頃		
11	歌川国貞 (三代歌川豊国)	隅田川晩夏ノ景	文政後期-天保中期(1823-34)		
12	溪斎英泉	新吉原年中行 七月七夕星祭燈籠 岡本屋内長太夫	天保(1830-44)		
13	歌川国貞 (三代歌川豊国)	十二月ノ内 葉月 つき見	安政元年(1854)		
14	溪斎英泉	十二ヶ月の内 八月月見	天保14-弘化4年(1843-47)		
15	歌川国貞 (三代歌川豊国)	歳暮の深雪	天保14-弘化4年(1843-47)		
16	溪斎英泉	炬燵の美人	文政-天保(1818-44)頃		
17	歌川国貞 (三代歌川豊国)	十二月ノ内 霜月 酉のまち	安政元年(1854)		
18	菊川英山	青楼之秋燈楼図	文化8年(1811)		
19	溪斎英泉	契情道中双嫁せう野 見立よしはら五十三つゐ 和泉屋内泉州	文政後期(1824-30)		
20	溪斎英泉	中万字屋内賤の尾	文政前期(1818-23)頃		
21	喜多川歌麿	文字楼一と本	寛政後期(1797-1801)頃		
22	溪斎英泉	浮世四十八手 うわきにまよわせる手	文政中期(1821-25)頃		
23	溪斎英泉	白粉	文政中期(1821-25)頃		
24	菊川英山	新吉原仮宅 丁子屋内唐哥	文化8-9年(1811-12)頃		
25	鳥居清満	露考(瀬川菊之丞)	宝暦(1751-64)頃		
26	歌川豊国	坂東三津五郎の忠のり	文政前期(1818-23)頃		
27	菊川英山	傘をさす娘	文化後期(1810-18)頃		
28	月岡芳年	風俗三十二相 うれしさう 明治稔間當今藝妓之婦宇曾久	明治21年(1888)		
29	歌川国貞 (三代歌川豊国)	吉例の暫 市川団十郎	文政(1818-30)頃		
30	豊原国周	俳優白浪當達者 鼠小僧治郎吉 三代目市川九蔵	元治元年(1864)		
31	鳥居清長	五代目市川団十郎と家族	天明3-4年(1783-84)頃		
32	歌川国貞	浮世名異女図会 深川新富士	文政中期(1821-26)頃		
33	奥村政信	傘さす美人	寛保-宝暦中期(1741-60)頃		
34	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 上野山下	安政5年(1858)3月		
35	歌川国貞 (三代歌川豊国)	今様三十二相 上りがよさ相	安政6年(1859)2月		
36	鈴木春信	林屋お筆	明和後期(1767-70)		
37	溪斎英泉	江戸名所美人合 愛宕	文政後期-天保中期(1827-37)		

38	溪齋英泉	当世松の葉 清元節	文政後期-天保(1827-44)
39	溪齋英泉	浮世姿 芝神明宮	文政-天保(1818-44)頃
40	溪齋英泉	浮世風俗美女競 酒韻美如蘭 茶神清如竹	文政(1818-30)頃
41	溪齋英泉	糸と名物鹿子美人あわ勢	文政後期-天保(1827-44)
42	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 浅草寺	安政4年(1857)11月
43	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 長命寺	安政4年(1857)11月
44	喜多川歌麿	当世美人三遊 芸妓	寛政12年(1800)頃
45	溪齋英泉	はつ雪	文政(1818-30)頃
46	歌川広重	東海道五十三箇会四十七 亀山	弘化4-嘉永5年(1847-52)
47	喜多川歌麿	当世女風俗通 下品の女房	享和元-2年(1801-02)
48	喜多川歌麿	化粧二美人	寛政6-7年(1794-95)
49	溪齋英泉	時世美女競 東都芸子	文政(1818-30)頃
50	溪齋英泉	今様美人拾二景 てごわそう 深川八幡之新富士	文政(1818-30)頃
51	溪齋英泉	傾城江戸方格 水道橋 丁子屋内唐歌	文化後期(1811-18)頃
52	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 今川はし	安政5年(1858)3月
53	溪齋英泉	うたたね	文政(1818-30)頃
54	溪齋英泉	いまよふ美しんあわせ	文政(1818-30)頃
55	溪齋英泉	今様美人拾二景 気がかるそう	文政(1818-30)頃
56	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世十六むさし すゝきせんたくしても親にくハせる子	文政(1818-30)頃
57	溪齋英泉	糸つむぎ	文化後期(1811-18)
58	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 よし原	安政5年(1858)
59	二代歌川豊国	風流東姿十二支 申	文政8-天保6年(1825-34)
60	歌川国貞 (三代歌川豊国)	今世斗計十二時 子ノ刻	文政(1818-32)頃
61	溪齋英泉	美人東海道 大磯駅 九	天保(1830-44)頃
62	鈴木春信	蚊帳の内外	明和2-7年(1765-70)
63	鳥居清長	羽根を取る男女	天明(1781-89)
64	鳥高齋栄昌	花魁と若衆	寛政後期(1794-1801)頃
65	歌川国貞 (三代歌川豊国)	不知火諾右工門	天保(1830-44)頃
66	歌川国貞 (三代歌川豊国)	紅葉川浪蔵	天保10-弘化4年(1839-47)
67	歌川国貞 (三代歌川豊国)	当世七小町 見立清水	安政4年(1857)6月
68	豊原国周	歌舞枝三十六句 廿七 傳吉 初代河原崎権十郎	慶応元年(1865)12月
69	歌川国貞 (三代歌川豊国)	螢狩当風俗 初代中村福助 初代河原崎権十郎	万延元年(1860)3月
70	歌川国貞(三代歌川豊国) ・歌川広景	東都富士三十六景 品川	万延元年(1860)7月
71	歌川国貞(三代歌川豊国) ・歌川広景	東都富士三十六景 両国	万延元年(1860)3月
72	溪齋英泉	時世十二相	文政(1818-30)頃
73	喜多川歌麿	当世風俗八景	寛政後期(1797-1801)頃
74	溪齋英泉	当世好物八契 三味線	文政(1818-30)
75	溪齋英泉	今様美女競 けいしや	文政-天保(1818-44)
76	溪齋英泉	当世好物八契 かるた	文政(1818-30)
77	溪齋英泉	当世好物八契 草双紙	文政(1818-30)
78	溪齋英泉	当世好物八契 着物	文政(1818-30)
79	溪齋英泉	浮世四十八手 茶屋にまつやくそくの手	文政中期(1821-25)頃
80	溪齋英泉	時世美女競 女房	文政-天保(1818-44)
81	溪齋英泉	江戸の松名木尽 円座松 青山	文政-天保(1818-44)
82	溪齋英泉	江戸の松名木尽 御行の松 根岸	文政-天保(1818-44)
83	溪齋英泉	今様美女競 於屋しきすかた	文政-天保(1818-44)

84	鳥居清忠	髪すき図	絹本一幅	享保-寛保(1716-44)
85	奥村政信	客待つ遊女	絹本一幅	宝永-正徳(1704-16)
86	浅山芦国・山口素絢・ 勝川春暁画、山東京 山賛	三都遊女図	絹本一幅	享和-文化(1801-18)頃作画、天 保7年(1836)着賛
87	溪斎英泉	身仕舞の図	絹本一幅	天保(1830-44)頃
88	歌川豊国	町娘図	絹本一幅	寛政後期-文化中期(1798-1812)
89	溪斎英泉	十二ヶ月の内 二月つみ草		天保14-弘化4年(1843-47)
90	歌川国貞 (三代歌川豊国)	十二月ノ内 弥生 雛祭		安政元年(1854)4月
91	溪斎英泉	十二ヶ月の内 正月春の遊		天保14-弘化4年(1843-47)
92	溪斎英泉	十二ヶ月の内 四月 ほととぎす かつほ		天保14-弘化4年(1843-47)
93	歌川国貞 (三代歌川豊国)	十二月の内 皐月 生花会		安政元年(1854)6月
94	歌川広重	東都名所 両国夕すゞみ		弘化4-嘉永5年(1847-52)
95	歌川豊国	七月七夕の景色		文化後期(1813-18)
96	歌川広重	雪月花の内 月の夕部		弘化4-嘉永5年(1847-52)
97	溪斎英泉	十二ヶ月の内 九月 緑日の菊		天保14-弘化4年(1843-47)
98	歌川広重	上野不忍の池 雪の景		弘化4-嘉永5年(1847-52)
99	歌川国貞 (三代歌川豊国)	星の霜当世風俗 外出		文化末(1814-1)頃
100	歌川国貞 (三代歌川豊国)	十二月之内 師走 餅つき		安政元年(1854)6月
101	鈴木春信	三都太夫揃 京嶋原きやう屋内 太夫花むらさき 江戸新吉原まつばや内 染之介 大坂新町つち屋内 文字太夫		明和後期(1767-70)
102	鳥高斎栄昌	扇屋見世略		寛政8年(1796)頃
103	溪斎英泉	新吉原年中行 九月後の月重陽 松葉屋内代々山		文政中期(1821-25)頃
104	溪斎英泉	契情六佳撰 姿海老屋内姿野 小野小町		文政(1818-30)頃
105	溪斎英泉	新吉原仲の町ノ図		文政元-3年(1818-20)頃
106	溪斎英泉	当世好物八契 手紙		文政(1818-30)
107	溪斎英泉	当世好物八契 芝居		文政(1818-30)
108	奥村政信	二人虚無僧		寛保-宝暦(1741-64)頃
109	歌川国貞 (三代歌川豊国)	柳街梨園全盛花一対 中むら芝翫 中万字内中川		元治元年(1864)
110	歌川国貞 (三代歌川豊国)	当世七小町 見立あふむ		安政4年(1857)6月
111	菊川英山	今様女扇		文化8-11年(1811-14)
112	二代鳥居清信	百万騎兵太平記 市川海老蔵のしのつか五郎		享保20-宝暦11(1735-61)頃
113	歌川国貞(三代歌川豊 国)二代歌川国久	柳街梨園全盛花一対 市川米升 稲本楼小いな		元治元年(1864)4月
114	歌川国貞 (三代歌川豊国)	梨園侠客傳 天川屋義平		文久3年(1863)
115	溪斎英泉	美人花あわせ 縁台でくつろぐ美人		天保後期(1837-44)
116	鳥居清長	牛若丸と浄瑠璃姫		寛政中期(1781-89)頃
117	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 白髭明神		安政5年(1858)2月
118	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 尾張町		安政5年(1858)2月
119	溪斎英泉	浮世風俗美女競 萬點水螢秋草中		文政4年(1821)
120	歌川豊広	丁子屋内雛轟		寛政中期(1793-97)頃
121	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 洲崎		安政4年(1857)11月
122	歌川広重	隅田堤闇夜の桜		弘化4-嘉永5年(1847-52)
123	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世十六むさし 子をだしにしてらくらくといたがる親		文化後期(1812-18)頃
124	溪斎英泉	吉原要変 廓の四季志 五月 松葉屋内代々山		文政6年(1823)

125	勝川春潮	橋上の行交	寛政(1789-1801)頃
126	鳥居清長	楽屋下袖頭巾の女	天明前期(1781-84)頃
127	溪斎英泉	逢妓八契 富ヶ岡の時雨	文政末(1827-30)頃
128	歌川国貞 (三代歌川豊国)	今世斗計十二時 未の刻 日ノハツ時	文政(1818-30)頃
129	歌川国貞 (三代歌川豊国)	松竹梅	文政9年(1826)
130	歌川国貞 (三代歌川豊国)	女用十二手箱ノ内 針箱	文政後期(1826-30)
131	歌川広重	婦久徳金の成木 こんよ木	弘化4-嘉永5年(1847-52)
132	歌川国貞 (三代歌川豊国)	当世美人合 かこゐ	文政後期-天保中期(1814-24)
133	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 芝神明前	安政5年(1858)2月
134	溪斎英泉	浮世四十八手 ひみきをたのしみにみる手	文政中期(1822-27)
135	二代歌川国貞	源氏絵	万延元年(1860)2月
136	溪斎英泉	当世好物八契 酒	文政(1818-30)頃
137	溪斎英泉	浮世風俗美女競 婉伸即膝中何処不可憐	文政(1818-31)頃
138	歌川国貞 (三代歌川豊国)	当世夏景色 水屋	文政前期(1818-23)
139	喜多川歌麿	針仕事	寛政後期-享和(1798-1803)頃
140	溪斎英泉	洗い張り	文化末(1815-18)頃
141	歌川国貞 (三代歌川豊国)	美人合 斬の玉水 五月雨	文政中期-天保(1824-44)頃
142	歌川国貞 (三代歌川豊国)	今様三十二相 気まへかよさ相	安政6年(1859)
143	歌川国貞 (三代歌川豊国)	戯絵兄弟 烏物語	天保後期(1837-44)頃
144	溪斎英泉	今様美人拾二景 うれしそう	文政中期(1821-27)頃
145	鳥居清長	風俗十二通意 蚊帳	天明3(1783)頃
146	菊川英山	娘小供 踊り狂言揃 夕きり 伊左右衛門	文化後期(1814-18)頃
147	溪斎英泉	羽織持つ花魁	文政中期(1821-27)頃
148	喜多川歌麿	風流愛興競 おさん 茂兵衛	寛政後期-享和(1798-1803)頃
149	歌川国貞 (三代歌川豊国)	江戸名所之内柳原 肥後不知火諾右衛門	天保(1830-44)頃
150	豊原国周	松ヶ枝喜三郎	嘉永3-文久3年(1850-63)
151	歌川国貞 (三代歌川豊国)	今様押絵鏡 伊豆屋与三郎	万延元年(1860)9月
152	豊原国周	五代目大谷友右工門の久利加羅でん次	慶応2年(1866)
153	歌川国貞 (三代歌川豊国)	梨園侠客傳 土左衛門伝きち ばん東かめ蔵	文久3年(1863)8月
154	歌川国貞 (三代歌川豊国)	東海道五十三次の内 日本橋 松魚売	嘉永5年(1852)
155	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 団扇	文政前期(1818-23)頃
156	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 仮粧	文政前期(1818-23)頃
157	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 初かりのふみ	文政前期(1818-23)頃
158	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 針仕事	文政前期(1818-23)頃
159	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 かさねづま	文政前期(1818-23)頃
160	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 指さす娘	文政前期(1818-23)頃
161	歌川国貞 (三代歌川豊国)	浮世人精天眼鏡 更衣	文政前期(1818-23)頃
162	歌川国芳	山海愛度図会 よい日をおがミたい 出雲はち密	嘉永5年(1852)12月
163	二代歌川豊国	風流東姿十二支 戌	文政8-天保6年(1825-35)
164	二代歌川豊国	風流東姿十二支 子	文政8-天保6年(1825-35)
165	歌川豊国	美人夏の富士	文政5年(1822)
166	溪斎英泉	当世会席尽 日本橋恵比須庵	文政-天保(1818-44)